

会場別来場者

会場	会期	来場者数	摘要
サンヒル柏原 4日間	1月6日 —9日	300	柏原商工会主催の賀詞交歓会の行事や年始の多客期を狙っての開催。
関西福祉科学大 5日間	1月23日 —27日	340	正門からすぐのホールでコンピュータ一室に出入りする学生が多かった。河内学の専攻生や教職員が目立った。 地域連携の関係で非常に熱心に取り組んでいただいた。
高井田老人会館 4日間	2月12日 —15日	150	谷口区長に依頼し区の役員会で決定。役員会に出席し説明した。地元とあって関心深く、天湯川田神社宮司も協力的。地区に告知を回覧し、動員をされた。
健康福祉センター 3日間	2月22日 —24日	240	健診や研修会。会議の多い日を選定した予告以上に来場者が多く関心を寄せる人も多かった
柏原駅前アゼリア 市民プラザ 2日間	3月3日 —4日	50	広報を見たひとが圧倒的で、集会のついでにという人も。アゼリアの1・3階に外部の人を引きつける看板の取付もできず最悪の会場だった。JR 駅の市の案内所にポスターもはれず。
国分図書館 4階ホール 3日間	3月17日 —18日	60	図書館との連携がうまくいかず、僅かな来場者となった。

延べ 1,140人

そのほかの資料

産経新聞社 1月24日付朝刊大阪府版、インターネットニュース
印刷物チラシ及びちぎり絵はがき（手製）

「鳥坂寺跡」国史跡指定記念

と さか であら

話題の鳥坂寺

伽藍配置(建物)を1/30模型で再現

高井田にあった 太古の寺院と白鳥伝説のロマン



企画 / 鳥坂寺保存会 柏原市まちづくりに頑張る自治会・団体補助金事業
共催 / 柏原市市民歴史クラブ 監修 / 柏原市立歴史資料館

奈良時代、大県郡といわれた柏原市堅下地区に朱色に彩られた大きな寺院がひしめき、後に河内六寺と呼ばれるようになりました。

孝謙天皇が河内六寺を参拝(行幸)されたとの記録が『続日本紀』という史料に記されています。智識寺に大仏があり、東大寺大仏の機縁になったことは有名ですが伽藍(建物)配置などは明確ではありませんでした。

国指定の史跡となった「鳥坂寺」も同様でしたが、調査の結果、建物基礎の石積みや階段が奈良時代のままで建築学上、考古学上例を見ない貴重な遺構とわかり、さらに伽藍配置も明らかになりました。

この展示会は、鳥坂寺の金堂や講堂、三重塔などの伽藍を1/30模型で配置し、瓦屋根の鴟尾(しび)もご覧いただけます。

と さか でら 鳥坂寺の伽藍



三重塔

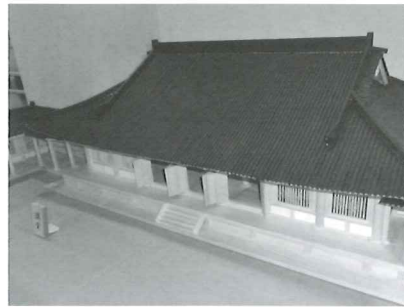
釈迦の遺骨をまつる建物です。塔の中心の柱を支える礎石から三重塔と見られ、建物の一辺が8.66mと推定。天湯川田神社の境内から発掘。

金堂



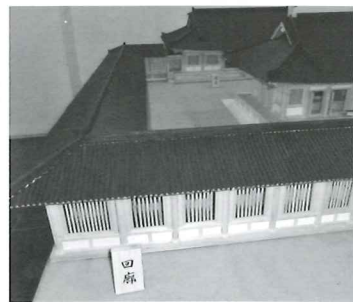
本尊の仏像を安置する寺院の中心的な建物。基壇の間口18m、奥行15m。屋根の大棟両端に付ける飾りの鴟尾(しび)がついた豪華な建築物。

講堂



お坊さんが勉強する建物です。基壇の間口は32.3m、奥行20.3mもあり金堂を圧倒するような豪壮な建築。屋根には鴟尾があったとの説もあります。

中門・回廊



前面にある門が中門、廊下が金堂へめぐらされ、礎石や礎石穴が創健時の様子を伝えている。

僧房・食堂



お坊さんが生活する建物(26×4.7m)、炊事や食事をする建物(15.2×10.4m)は金堂から谷を隔てた場所にあり、屋根はわら葺き、かや葺きの簡素な建物で付近から柵の跡や井戸が見つかっている。

— | ホムツワケ皇子と白鳥伝説 | —

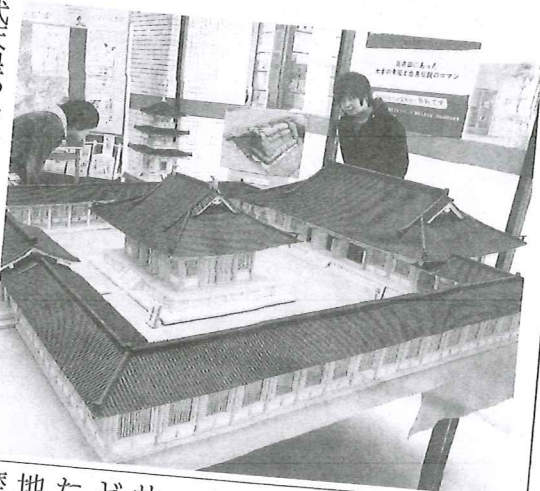
鳥坂寺の三重塔があった天湯川田神社は鳥取氏の祖先天湯川桁命を祀っています。当時、朝廷への献上物を猟っていた鳥取氏が鳥坂寺の建立にもかわり、大いに力を発揮したとの説があります。

日本書紀によると11代垂仁天皇の皇子ホムツワケは大人になっても話すことができなかつた。ある日、空を飛ぶ白鳥を見て、言葉を話し鳥の名を尋ねられた。天皇はあの白鳥を捕えるよう命じられたのが天湯河板拳(天湯川桁命)で、白鳥の飛んだ後を追って出雲に至りようやく捕えた。ホムツワケ皇子はこの白鳥と戯れ、モノを言うようになったと。白鳥を捕獲したほうびとして鳥取造の姓が与えられた。



1/24日付 産経新聞府内版

幻の「鳥坂寺」伽藍 愛好家ら模型で復元



奈良時代に聖武天皇や孝

謙天皇が参拝した河内六寺のひとつで、発掘調査が続けられてきた「鳥坂寺」(柏原市)の魅力を知ってもらおうと、地元の歴史愛好家らが寺の伽藍を模型で復元。23日、同市旭ヶ丘の関西福祉科学大で展示を始めた。27日まで。

鳥坂寺は飛鳥時代の7世紀後半に創建されたが平安時代に廃絶し、建物などは残っていない。だが、発掘調査で塔や講堂の跡、金堂

発掘成果をもとに復元された鳥坂寺の模型に見入る学生ら。柏原市の関西福祉科学大

の階段などが発見されるなど、立派な伽藍をイメージできる調査成果があがっている。

模型は実物の30分の1のサイズ。奈良県の法起寺など同時代の寺院を参考にした復元イメージをもとに、地元の鳥坂寺保存会と市民歴史クラブのメンバーが、模型の制作が得意な同市在住の曾奈美章さん(71)の協力を得て、約半年かけて制作した。

制作中の昨年11月には鳥坂寺跡が国史跡になることも決まり、同保存会の養原正さん(71)は「埋もれていた歴史ロマンを今こそ感じとってほしい」と話している。模型は、同大学での展示後も高井田老人会(市内4カ所)で順次展示する予定。

聖武天皇の時代、再び…幻の鳥坂寺伽藍を復元

大阪・柏原

2012.1.24 10:03



発掘成果をもとに復元された鳥坂寺の模型＝大阪府柏原市の関西福祉科学大

奈良時代に聖武天皇や孝謙天皇が参拝した河内六寺の一つで、発掘調査が続けられてきた「鳥坂(とさか)寺」(大阪府柏原市)の魅力を知ってもらおうと、地元の歴史愛好家らが寺の伽藍(がらん)を模型で復元。23日、同市旭ヶ丘の関西福祉科学大で展示を始めた。27日まで。

鳥坂寺は飛鳥時代の7世紀後半に創建されたが平安時代に廃絶し、建物などは残っていない。だが、発掘調査で塔や講堂の跡、金堂の階段などが発見されるなど、立派な伽藍をイメージできる調査成果があがっている。

模型は実物の30分の1のサイズ。奈良県の法起寺など同時代の寺院を参考にした復元イメージをもとに、地元の鳥坂寺保存会と市民歴史クラブのメンバーが、模型の制作が得意な柏原市在住の曾奈美章さん(71)の協力を得て、約半年かけて制作した。

制作中の昨年11月には鳥坂寺跡が国史跡になることも決まり、同保存会の蓑原正さん(71)は「埋もれていた歴史ロマンを今こそ感じ取ってほしい」と話している。

模型は、関西福祉科学大での展示後、高井田老人会館など柏原市内4カ所で順次披露される予定。